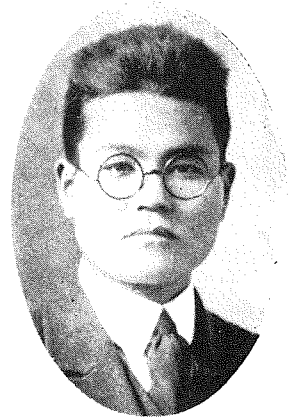


## 日本工人俱樂部技術者 資格檢定試驗合格者略歴

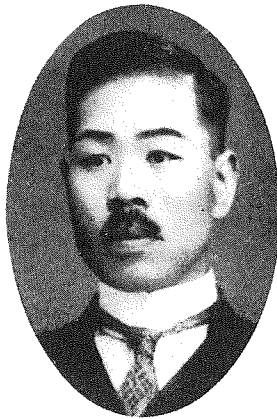
**早水氏** 明治三十三年二月八日新潟縣佐渡桐川郡の産、大正三年桐川高等小學校、同六年桐川實業補習學校卒、佐渡郡土木助手となる、大正十二年上京し、市下水係工手の職に就き、餘暇を以て日本大學高等工學校土木科に入り目下二年在學、十三年五月内務省復興局土木部工務に轉勤す。

**内田氏** 明治二十二年五月一日、東京市牛込區東五軒町に生る、新潟縣立柏崎中學五年級中途半ばにして退學、後、土木工學を獨習し土木請負業を營む、大正十年静岡縣小笠原郡役所雇、同年道路技手に任ぜられ、十二年三月現在の職なる、静岡縣土木吏員に轉ず。

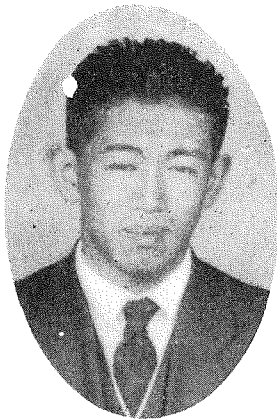
**小笠原氏** 明治三十三年二月二十五日、青森縣下北郡大湊郡大字大湊の生、大正四年三月大湊小學校三年卒、六年四月大湊要港部修理工場圖工見習、同七年大湊興業株式會社工手、後上京して十三年三月復興局道路課に入り、餘暇を以て工手學校土木學科入學、目下在學中。



早水 虎雄 氏  
現復興局土木部工務課



内田 竹次郎 氏  
現静岡縣土木吏員



小笠原 石次郎 氏  
現復興局道路課

### 學閥打破實現の 嚆 矢

人格の高下、技倆の優劣を出身學校の種別階級に依つて判定の標準たらしむるが如き因襲を打破し、實力さ高尙なる人格を有しながら學閥に遮ぎられ、伸展し得ざる有爲の技術者を社會に推挽して技術の向上を圖り、

併せて技術界に潑刺の活氣を漲らせんとする目的を以て創始されたる日本工人俱樂部の技術者資格檢定試験は、去る五月二十二日より三日間同俱樂部で施行した。今回の試験は土木科第三種（工手學校程度）であつたが、試験場所が東京であつた爲め地方からの受験志願者は殆んどなく、東京及附近居住者の少數であつた。試験の結果は頗る良好で合格した三名は學力人格共に優秀の者のみである、六月五日合格證書授與式が行はれ合格證書授與後委員長茂庭博士から一場の訓示及將來に對する希望等が述べられた。同俱樂部では合格者には就職其他必要に應じ推薦狀を發し又は適當なる助力をするこいふことである。

尙同俱樂部は社會の趨勢に鑑み來年度に於ては第二種(高工程度)の試験を行ひ必要に應じては地方巡回試験をも行ふ計劃があるこいふ。

Three Promising Young Civil Engineers Have Recently Passed the Examination of the Japan Engineer's Club.